

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鎌倉梶原商業施設 新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県鎌倉市梶原字古川240番3外2筆	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	8,000人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店,病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2025年2月13日
敷地面積	15,225 m ²	作成者	株式会社福田組 東京本社 一級建築士事務所
建築面積	6,361 m ²	確認日	2025年2月13日
延床面積	11,996 m ²	確認者	株式会社福田組 東京本社 一級建築士事務所

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ (30%)

標準計算: ①参照値 100%, ②建築物の取組み 78%, ③上記+②以外の 78%, ④上記+ 78%

排出量: 46 kg-CO₂/年・m²

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.9, Q2 サービス性能: 3.2, Q3 室外環境(敷地内): 3.0, LR1 エネルギー: 2.3, LR2 資源・マテリアル: 3.3, LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 (スコア: 2.9): 音環境(2.6), 温熱環境(2.6), 光・視環境(2.8), 空気質環境(3.7)

Q2 サービス性能 (スコア: 3.2): 機能性(3.2), 耐用性(3.1), 対応性(3.6)

Q3 室外環境(敷地内) (スコア: 3.0): 生物環境(3.0), まちなみ(3.0), 地域性(3.0)

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー (スコア: 2.3): 建物外皮の(1.0), 自然エネ(3.0), 設備システ(2.5), 効率的(3.0)

LR2 資源・マテリアル (スコア: 3.3): 水資源(3.0), 非再生材料の使用削減(3.5), 汚染物質回避(3.0)

LR3 敷地外環境 (スコア: 3.3): 地球温暖化への配慮(3.8), 地域環境への配慮(3.0), 周辺環境への配慮(3.2)

3 設計上の配慮事項		
総合	JR横須賀線・鎌倉駅からバスで19分、バス停より徒歩2分の工業地域に診療所を含む物販店を2F・S造にて計画した。	その他 0
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 空調・給排水配管の更新対策にも配慮した設計としている。
Q2 サービス性能	空調・給排水配管の更新対策にも配慮した設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	特になし	LR2 資源・マテリアル リサイクル材やLGS下地を採用し、容易に分別可能としている。
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材やLGS下地を採用し、容易に分別可能としている。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率78%とし、光害抑制にも配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される